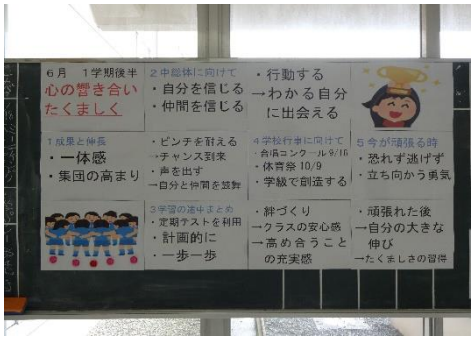
愛と創造

山形市立第十中学校
学校だより６月号
2026.6.23

響き合いと高め合い　一体感　ひたむきさ　地域理解　障がい者理解

□１学期後半スタート　集団力の向上と個人のさらなる伸長に向けて



１学期前半（４月・５月）の「出会いと挑戦」の期間から、６月から「個人の伸長を図る」１学期後半が始まりました。

前半は、新たな環境に慣れながら、学年の行事を経て絆づくりに励んだ期間でした。その結果、現在では生活の基盤ができ、安心感をもって生活して新たなことに挑戦しているようにとても感じます。

後半は、生活の基盤をもとに、さらに自分も集団もステップアップする期間です。この期間には、市中総体・Ｄ１グランプリ、定期テスト、県中総体、吹奏楽コンクールなど、様々な行事があります。また、合唱コンクールや体育祭に向け、学級での活動が始まっていきます。



この後半にあたって、生徒の皆さんには「さらに挑戦」「さらに継続」を合い言葉に、より一層自分の可能性を伸ばし広げてほしいと思います。また、「心が響き合う十中」をめざし、生徒の皆さんみんなで、さらに集団力を伸ばしていきましょう。

□６月13日・14日　山形市中総体・Ｄ１グランプリ



６月13日・14日の両日にわたって、第79回山形市中学校総合体育大会が山形市総合スポーツセンターをはじめ各会場で開催されました。また、美術部は、Ｄ（デッサン）１グランプリに参加しました。

各競技では、十中生のがんばりがたくさん見られました。「ひたむきさ」「一生懸命さ」「たくましさ」が随所に見られました。また、応援する生徒の皆さんは、はつらつとした声援で選手のプレーの後押しをしていました。

去る６月17日には、市中総体報告会が行われました。各部からの結果報告は、頑張れたこと、課題と応援への感謝など、思いが多岐にわたっており、経験したからこそ出てくる重い言葉がたくさん語られていました。

最後に、両日の各会場での保護者の皆様はじめ多くの方々の応援に対しまして感謝申し上げます。なお、県中総体は、来る７月17日から県内各地で開催されます（ソフトテニス競技は７月11日・12日）。



□６月５日　市中総体・Ｄ１グランプリ壮行式



去る６月５日に市中総体・Ｄ１グランプリに出場する選手の皆さんの壮行式を行いました。

当日は、選手入場の際には、各部活動ごとかけ声をかけながら入場行進を行うことにより、とても気合いの入った壮行式となりました。選手の皆さんは、緊張しながらも声を思いっきり出しながら大会に臨む決意を示していました。また、応援団をはじめ応

援生徒の皆さんからの選手を鼓舞する応援により、会場は一体感に包まれました。
　最後に、当日、参観していただいた多くの保護者の皆様はじめご家族の皆様に感謝申し上げます。



□６月３日　SOS の出し方教育





　去る６月３日に、本校の健康安全指導部の主催で全校生徒を対象に、SOS の出し方教育を行いました。
　当日は、山形県立保健医療大学看護学科の教授安保寛明様に「SOS の出し方講座―こころに負担を感じたときにするといいこと―」と題して、ご講演をいただきました。安保寛明様は、山形県や県内の市町村と連携して小中学校でのメンタルヘルス教育（SOS の出し方教育など）、ひきこもり対策や自殺対策のための研修、職場のメンタルヘルス増進のための各種事業協力を行っています。
　今回の講演では、生徒の皆さんにわかりやすく、心を紙風船に例えながらお話ししていただきました。なお、今回の講演は、山形市のご支援のもと実施しました。

□６月１日　山形市と日本銀行の合同授業　３年生



　去る６月１日に山形市と日本銀行の合同授業が３年生を対象に実施されました。当日は、山形市の佐藤孝弘市長様が講師としてお越しになり、日本銀行山形事務所の川村憲章所長様のコーディネートのもと、PC 室と３年生各教室とを回線で結びながら合同授業が進められました。
　はじめに、川村所長様が「山形の魅力」をデータから解説し、続けて本校と日本銀行本店とをリモートで結び本店内を見学しました。次に、佐藤市長様から「山形市の魅力」についてお話しをいただきました。普段なかなか聞けないお話しなので、各教室で電子黒板を通して視聴していた生徒の皆さんも、興味深くお話を伺っていました。
　今回の合同授業は、金融経済教育の一環として日本銀行山形事務所の皆様の企画・運営のもと進められました。

□６月19日　24 時間テレビ　パラスポーツ体験授業　３年生





　去る６月 19 日に、シドニー 2000 パラリンピック車いすバスケットボール日本代表キャプテンを務めた根木慎志様が来校して、パラスポーツの体験授業を行いました。
　当日は、24 時間テレビチャリティー委員会の副会長佐々木豊様、山形放送株式会社常務取締役の伊藤清隆様、同じくビジネス開発局の金内正様ほか多くの関係機関の皆様にお越しいただきました。
　はじめに、贈呈式が行われ、本校に障がい者スポーツ用車いす 10 台が寄贈されました。次に、根木慎志様にお話しをいただいた後に、実際に２つのチームに分かれて車いすバスケットを体験しました。
　今回いただいた障がい者スポーツ用車いすは、24 時間テレビの募金等の善意によって購入されたものです。今後、この車いすを利活用しながら、障がい者スポーツについて地域の皆様に理解の和をひろげていきたいと考えています。